

ニール・ホール氏朗読会

A Poetry Reading by Neal Hall

日時：2017年9月25日（月）13：00～14：30

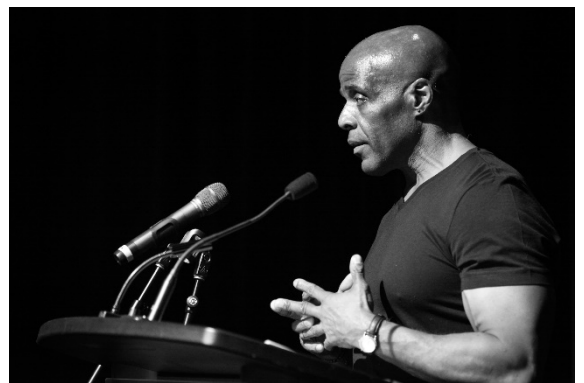
会場：455

藤女子大学文学部英語文化学科では、9月25日に著名なアメリカ黒人詩人ニール・ホール（Neal Hall）氏をお招きし、朗読会を開催いたします。

● 紹介

ニール・ホール氏はアメリカの名門大学、コーネル大学とハーバード大学を卒業し、詩人であると同時に眼科医でもあるという、非常にユニークなキャリアの持ち主です。国際的にも著名な詩人であり、アメリカだけでなくヨーロッパ、アフリカ、アジアの各国で彼の朗読会が開かれてきました。

アメリカの知識人コーネル・ウェストはホール氏について次のように述べています。



「彼は魂の戦士であり、精神の戦士であり、活動家であり、詩人である。ドクター・ホールは苦しみへの鋭敏な感受性を有していると感じる。マーティン[・ルーサー・キング]、マルコム[X]、そしてイエス、彼らもみなこういう感受性の持ち主であった。彼の魂の両面には預言者のごとき傾向がある。彼の詩には社会と人種の問題について、一般の人々が抱いている考えを変える力がある。」

ホール氏は現在までに *Nigger for Life*、*Winter's A' Coming Still*、*Where Do I Sit*、*Appalling Silence* という四つの詩集を発表し、2017年秋には新たな詩集 *Door of No Return* が出版される予定です。また氏の作品は数々の文学賞を受賞し、世界中で翻訳されています。日本でも大森一輝氏による翻訳『ただの黒人であることの重み(仮)：ニール・ホール詩集』が間もなく出版予定です。

● 受賞歴

Winter's A' Coming Still により“First Place Prize for Poetry in the Florida, Southern California, San Francisco, New England, New York, Paris, Los Angeles, London, Pacific Rim, Great Midwest, Amsterdam, Great Northwest and Great Southwest Book Awards”を受賞。

Where Do I Sit により“First Place Prize For Poetry: Hollywood, Northern California, Southern California, Great Midwest Florida, London, Great Northwest, Great Southwest, Los Angeles, Paris, San Francisco, New England and New York book awards”を受賞。

他多数